

第4学年○組 道徳科学習指導案

令和 年 月 日 () 第 校時

児童数 男子 名 女子 名

授業者

- 1 主題名 正しいと判断したことは自信をもちよく考えて行う。 A 善悪の判断
- 2 ねらい 善悪の判断について多様な感じ方や考え方に触れさせるために、はっきりと言わないで立ち去る理由について話し合い、悪口を言っている人と一緒にならないという判断だけでなく、人に左右されないで自分にできることをするという態度を育てる。

教材名 「いっしょになって、わらっちゃだめ」(出典 「新しい道徳」4年 東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

主として自分自身に関することについて、人として行ってよいことなど、しっかりと区別したり、判断したりする力を身に付けさせることができるようにすることが大切である。自ら正しいと信じるところに従って誠実かつ謙虚に行動することが人として重要なことである。

指導に当たっては、悪いことだという判断をしたら笑ったりしているその集団に加わらないという態度を育てようとする内容項目である。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、男女の仲がよく休み時間など一緒に遊ぶことが多い。しかし、間違っただけなどをして人に対してははっきりと注意できる児童と人間関係を崩さないように指摘し合わないような児童がいる。注意する場合であっても口調が強くなったり、相手への思いやりが感じられなかったりする場面も見られる。正しいと判断したことに自信をもって行動する児童は多くはない実態である。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、ゆうじ君がサルに似ていると言って、クラスみんなが面白がっていた。そのことをお父さんにいじめではないかと言われ、主人公の「ぼく」がそれに気づき、どうすればよいのかをじっくりと考えて行動に起こしたという内容である。「いじめをやめろ」などと言うのではなく、ほかの友だちと同調せず、その場から立ち去るという自分にできることをしたところにこの教材の特徴がある。

「ぼく」が友だちに同調しない理由について考えさせ、多様な感じ方や考え方を引き出す。また、悪口を言っている人はその周りの反応を楽しんでいるということもあるかどうかについても触れることで考えを深めていく。その上で、自分がどの立場でどんな行動をするかを判断し、自己の生き方を考えさせることにより道徳性を高めていきたい。

4 学習指導過程

| 段階 | 学習活動・主な発問 | 予想される児童の発言 | 指導上の留意点 ☆評価の視点 |
|----|---------------------|----------------------------|------------------------|
| 導入 | 1 場面絵から教室の様子を想像させる。 | ・おもしろいことをしている ・明るいクラスだな | ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 |

| | | | |
|-----------|---|---|---|
| <p>展開</p> | <p>2 教材「いっしょになつて、わらっちゃだめだ」を読んで考える。</p> <p>(1)みのるが「ゆうじはサルに似ている」といってみんながドッと笑ったのを見てどんな気持ちになったでしょうか。</p> <p>(2)みのるが昼休みにまた「モンキー」と呼んだ。みのるが僕の方を見た。みのる君と目があつた僕の心の中はどんなでしょうか。</p> <p>(3)だまって教室を出て行く僕はどんなことを考えているだろうか。</p> <p>3 これまでの自己の在り方を見つめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しいな ・うけたな ・すべらなかつたな ・悪いことしたな ・やめろといたいがいえない ・笑った方がいいかな ・自分も言われちゃうかな <p><みんなに合わせよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのるに怒られる ・僕もいじめられるかも ・一人では助けられない <p><行動しよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放っておいても変わらない ・悪いことに加わりたくない ・みんなに合わせないで済む ・嫌がることはしない ・自分にできることは加わらないことだ <ul style="list-style-type: none"> ・これでみんながやめればいいな ・自分にできることはこれくらいだ ・悪いことに加わらないぞ | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで笑っていると、相手のことを考えず、人に左右されていることに気付かせる。 ・力関係や友だちとの関係を保持しようとする事で周りに合わせてしまうことはあるか考えさせる。 ・理由を二つに分けどちらの気持ちが強いかを明確にし、理由を問う。 ・役割演技を入れることも考えておく。 ・多様な考え方に触れさせるためにグループで話し合いをさせる。 ・正しい判断、行動とはどんなものか改めて考えさせてねらいとする道徳的価値へと迫らせる。 <p>☆同調しない理由について自分の考えをもち、よいこと正しいことを自分の信じることに従って判断することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己をふり返らせ、道徳的価値の自覚を図る。 |
| <p>終末</p> | <p>4 教師の話聞く</p> | | |

5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】


- ・なぜ何も言わずに立ち上がったのか、主人公の心を中心に多面的・多角的に考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分が正しいと思ったことについてよく考え、自信をもって行うことが大切であることを発信している。

6 板書計画

ゆっし



楽しんで
みんな話している
笑わせている
遊ぼう

↓

いじめ
あそび

おのる

さるににてる?
笑てくれ
うれし
がまん
またせける好
からかい? 本気?
サルーていあふた
自分があわてたらどう?
まわなてよ
先生がいながら
君たちもサルー!

いっしょになて、笑っちゃだめだ

<行動のうつろ> <みんなに合わせて>

- 正しいこと
- 注意する
- 教えられる
- 気づいてるのは自分だけ
- はまき言う


自分がいじめられる
見ているだけ

人おせ

気がつく

1回があると
続いてしまう

正しいことだ!



自分
自分の意見で
判断
やめよう

背中であげれる
行動が伝わる

みんなが
振り返る

言えないこともある
下から
やめよう!!!
空気とよむ

第33回 道徳

最適解

二月六日 木曜日

